

令和 7 年度 MEMS パークコンソーシアム 総会議案書

令和 6 年度 事業活動報告・決算報告
令和 7 年度 事業計画（案）・審議事項

令和 7 年 6 月 27 日（金）

MEMS
PARK CONSORTIUM

報告事項

1 活動方針（令和 6 年度総会決定）

令和 5 年度に引き続き、①情報発信事業、②人材育成事業、③技術相談事業、④ネットワーク形成事業を実施すると共に、以下のとおり事業の充実化を図る。

（1）試作コインランドリ利用の推進について

各種展示会や講演会、仙台 MEMS ショールーム等において、試作コインランドリの活用による実用化例や、利用可能な設備、技術等の情報を広く発信して利用者の増加を目指す。また、MEMSPC 会員のネットワークも活用しながら、開発の支援を行う。

（2）MEMS 集中講義

第 22 回の MEMS 集中講義を開催予定。

MEMS の基礎知識から学会等の最新情報までを幅広く扱って、MEMS に携わっている技術者、これから関係しようとする技術者に必要な情報を提供する。

（3）MEMSPC 会員企業に資するネットワーク構築活動

これまでの MEMSPC の取組みにより培ったネットワークを、会員企業がより効果的に利用できるよう、要望に応じて事務局がコーディネートや企業訪問を行う等により会員企業のネットワーク構築に寄与する。また MEMSPC 設立 20 周年を記念するイベントを企画して、MEMSPC ネットワークの拡大に繋げる。

2 活動内容（実績）

(1) 情報発信事業

①公開セミナーの開催

■第 22 回 MEMS 集中講義（ハイブリッド）

日程：令和 6 年 8 月 21 日（水）～23 日（金）

会場：東北大学環境科学研究科 本館 2 階 大講義室
及び YouTube Live

参加者数：251 名（講師・関係者含む、内現地参加 64 名）

内容：2016 年開催以来 8 年ぶりの仙台開催であった。青葉山新キャンパスを会場に昨年と同様にリアルとオンラインのハイブリッドで開催した。東北大学の研究者の方々より、MEMS 技術の基礎的知識から各分野のアプリケーションへの応用展開、最新の技術・業界動向や、センサ・MEMS を用いた異分野融合研究について等、様々な角度から情報提供を行った。また今年度から本格稼働を開始した大型放射光施設 NanoTerasu 関連での講義も組み込んだ。

恒例の 2 日目の交流会には 30 名超の参加があり大変盛況であった。



■第 36 回マイクロシステム融合研究会

日時：令和 6 年 6 月 14 日（金）14：00～17：10（終了後交流会）

会場：東北大学西澤潤一記念研究センター 2F ショールーム室

参加者数：29 名

内容：オプティクス、フォトニクス関連で 5 件の講演を行った。

研究会プログラム

14:00-14:05 主催者挨拶

14:05-14:40 講演 軸谷 直人（（株）リコー）

「リコーにおける面発光レーザーの開発」

14:40-15:15 講演 泉二 玲緒奈（京セラ（株））

「0.18 μm CMOS プロセスを用いて作製可能な低損失偏波無依存
スポットサイズ変換器」

15:15-15:50 講演 宮下 隆明（元国立天文台）

「マイクロレンズの特性計測と国際標準」

15:50-16:00 休憩

16:00-16:35 講演 金森 義明（東北大学）「光・電波を操るメタマテリアル」

16:35-17:10 講演 許 悦紅（理化学研究所）

「高機能テラヘルツ波メタサーフェイスの研究」

交流会

会場：東北大学西澤潤一記念研究センター2F 名誉所長室



■第 37 回マイクロシステム融合研究会

日時：令和 6 年 10 月 31 日（木）13:50～17:05（終了後交流会）

会場：東北大学西澤潤一記念研究センター 2F ショールーム室

参加者数：20 名

内容：アカデミア成果の社会実装に重要な産学連携やスタートアップに関係する
5 件の講演を行った。

研究会プログラム

13:50-13:55 主催者挨拶

13:55-14:30 講演 下川房男（香川大学 特命教授）

「植物ヘルスケアセンシングシステムの開発とその社会実装に向けて」

14:30-15:05 講演 熊谷静似

（スピセンシングファクトリー（株）代表取締役）

「TMR センサの生体測定への応用と量産を見据えたプロセス開発」

15:05-15:40 講演 川口明宏（AK ビジネスデザイン代表）

「「Design x Technology」による産学官連携活動」

15:40-15:50 休憩

15:50-16:30 特別講演 大平文和（香川大学 名誉教授、客員教授）

「MEMS 技術を基盤とした地域連携の取り組み ～香川大学の事例～」

16:30-17:05 講演 河尻耕太郎（（株）エイゾス 創業者）

「研究開発を超効率化する革新的 AI 解析プラットフォーム

「Multi-Sigma」」

交流会（17:10～18:30）

会場：東北大学西澤潤一記念研究センター2F 名誉所長室



■第 38 回マイクロシステム融合研究会+MEMSPC Café

日時：令和 7 年 3 月 14 日（金）13:30～17:20（終了後交流会）

会場：東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 5 F イベントスペース

参加者数：25 名

内容：半導体発展のドライバであるデジタルツインや半導体人材育成に関する講演に加え、三井不動産（株）湯川俊一様の産学連携に関する特別講演を行った。

研究会プログラム

13:30-13:35 主催者挨拶

13:35-14:05 講演 立川 智章（東京理科大学 教授）

「デジタルツインの概要と大学における IT/OT 融合教育の試み」

14:05-14:35 講演 永井 香織（日本大学 教授）

「建設における維持保全の現状と課題」

14:35-15:05 講演 室山 真徳（東北工業大学 教授）

「ロボット分野におけるデジタルツインの利用について」

15:05-15:15 休憩

15:15-15:45 講演 町田 収（三井不動産（株）イノベーション推進本部）

「スマートシティとデジタルツイン」

15:45-16:15 講演 原田 亨（（株）リコー 先端研究所）

「“はたらく” のデジタルツイン」

16:15-16:45 講演 竹川 隆司（（株）zero to one 代表取締役 CEO）

「産学連携による半導体分野の人材育成に向けて」

16:45-17:20 特別講演 湯川 俊一（様三井不動産（株））

「都市の産学連携エコシステム」

交流会（17:30～19:30）

会場：東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 5 F ラウンジ



■MEMSPC 設立 20 周年記念シンポジウム -MEMS の 20 年とこれから- の開催

シンポジウムの狙い：MEMS パークコンソーシアム（MEMSPC）は産学官が連携したネットワークとして 2004 年 10 月 19 日に設立され、今年設立 20 周年を迎えた。この間 MEMS は車やスマホ等への搭載を通じて社会生活へ浸透が進んでいるが、マーケットの構造や MEMS の研究開発を取り巻く環境も変わっている。本シンポジウムでは MEMS について研究開発や事業の視点でこの 20 年間を振り返り、これからの方向性について議論する。

日時：令和 6 年 11 月 19 日（火）13:00~17:30 （終了後懇親会）

午前中に NanoTerasu 見学を実施

会場：アーバンネット仙台中央ビル YUINOS 4F カンファレンス A、B

参加者数：シンポジウム参加 115 名、NanoTerasu 見学参加 47 名

内容：

講演 13:00~17:30

第 1 部：MEMSPC にゆかりのひと、MEMS 発展に尽力されたひと（敬称略）

13:00~13:30 戸津 健太郎（東北大学 μ SIC センター長・教授

MEMSPC 代表）

開会挨拶「MEMSPC の 20 年を振り返る」

13:30~14:00 記念講演 江刺 正喜（メムス・コア CTO/

μ SIC シニアリサーチフェロー）

「MEMS とその未来」

14:00~14:30 記念講演 原山 優子（web 参加）（東北大学名誉教授/

前 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）

14:30~14:50 （休憩） 展示見学（20 分）

第 2 部：日本の MEMS 産業を牽引する企業（講演者敬称略）

14:50~15:10 （株）メムス・コア 会長 本間 孝治

15:10~15:30 SK グローバルアドバイザーズ（株）代表取締役社長 神永 晋

15:30~15:50 TDK（株）センサシステムズビジネスカンパニー エグゼクテ

ィブアドバイザー 関口 義雄

15:50~16:10 日清紡マイクロデバイス（株）取締役副社長 小宮山 一明

16:10~16:30 （休憩） 展示見学（20 分）

16:30~16:50 アルプスアルパイン（株）主査/コーチングシェルパ 竹谷 努

16:50~17:10 浜松ホトニクス（株）人事 G グループ長 瀧本 貞治

17:10~17:30 （株）ミライズテクノロジーズ 取締役 橋本 雅人

併設展示 4F カンファレンス C、ホワイエ

「役に立つ MEMS」の展示（MEMS が使われているもののデモ展示）

懇親会 18:00~20:00

会場：PICKS（ピックス）YUINOS 1F 参加者：68 名



②展示会の開催・出展

■MEMS Engineer Forum(MEF) 2024

日程：令和6年4月17日（水）～18日（木）

会場：KFC Hall & Rooms（東京 両国）

展示会来場者（2日間合計）：887名（主催者発表）



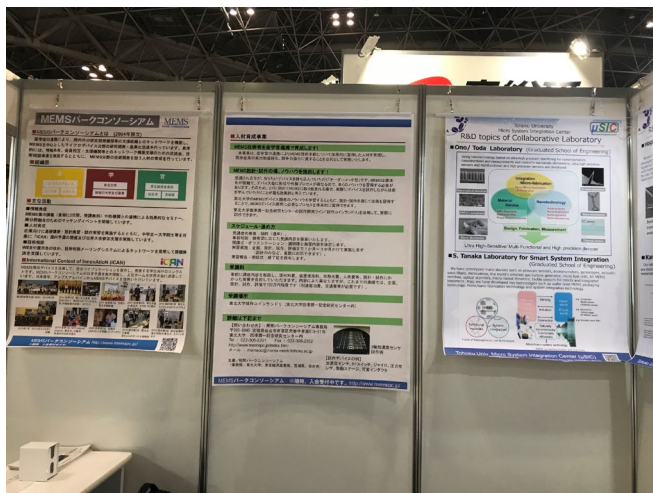
〔内容〕MEMS Engineer Forum(MEF)は東北大学田中秀治教授が実行委員長で開催するMEMS技術関係の国際フォーラムで展示会を併設している。MEMSPCはアカデミア枠で出展しポスター展示を行った。

■MEMS センシング&ネットワークシステム展 2025

日程：令和7年1月29日（水）～1月31日（金）

会場：東京ビッグサイト

展示会来場者（3日間合計）：42,089名（主催者発表）



展示ブースの様子

〔内容〕東京ビッグサイト東展示場を使って複数の展示会を同時開催する総合展示会の1つとして開催したもの。MEMSパークコンソーシアムは東北大学マイクロシステム融合研究開発センターと共同出展した。μSICのブースにMEMSPC紹介パネル（コンソーシアム概要／人材育成事業iCAN）及びパンフレット等を展示した。

〔主な同時開催イベント〕 nano tech 2025 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

③MEMS ショールームの運営

西澤センター利用者を中心として、展示デバイスやMEMSの歴史等を見学いただいた。MEMS ショールームの見学者数は前年度と比べて増加した。

- ・令和6年度見学者数（署名いただいた方）：21名（令和7年3月末現在）
- ・オープン（平成24年5月）以降累積見学者数：1,193名

(2) 人材育成事業

①第14回国際イノベーションコンテスト (iCAN'24) 国内予選

日程：令和6年4月14日(日)

場所：せんだいメディアテーク

参加者数：100名(オープンスペースの開催のため参加者数は概数)

内容：MEMSデバイスを用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う国際コンテストの国内予選を開催した。大学生・専門学生・高校生計13チームが予選に参加し、審査の結果以下のチームを表彰した。

順位	チーム名	作品名	所属
1位	Plus AlPhantom	Phox	東京工業大学 放送大学 東京農工大学 山梨大学
2位	Jammy Tech	CaCo	京都先端科学大学
3位	Choco chip cookies	腹筋マスター	名城大学
4位	RFJIT	シルバースプーン	青森県立弘前工業高等学校

また、学生の互選による以下の賞を授与した。

賞(互選)	チーム名	作品名	所属
ポスター賞	Jammy Tech	CaCo	京都先端科学大学
特別賞 (技術部門)	向上性手工業	Muscle Kinetic hand	東京都立多摩科学技術高等学校
特別賞 (チャレンジ 部門)	向上性手工業	Muscle Kinetic hand	東京都立多摩科学技術高等学校
特別賞 (アイデア 部門)	Jammy Tech	CaCo	京都先端科学大学

また、iCAN'24より仙台市長賞を新設した。

賞(互選)	チーム名	作品名	所属
仙台市長賞	Assistant Baby's	ベビーファースト	名城大学



現地の様子（ポスターセッション、集合写真）

②2024 年国際イノベーションコンテスト（iCAN'24）世界大会

日程：令和 6 年 7 月 11 日（木）～12 日（金）

場所：ダボス（スイス）

出場：13 チーム（中国 7、ドイツ 3、日本 1、香港 1、タイ 1）

内容：iCAN'24 世界大会はスイスダボスで開催された iCANX Davos Summit の中で行われた。今大会には、日本から iCAN'24 国内予選の優勝チームである Plus AlPhantom（東京工業大学、放送大学、東京農工大学、山梨大学）が参加した。

世界大会の結果は、

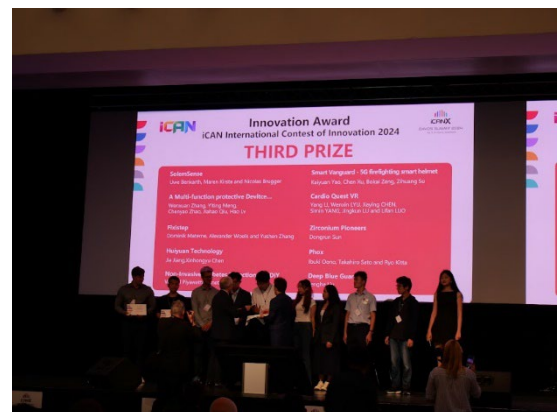
第 1 位 ドイツ StraightUp（ショルダ型の姿勢モニタ）

第 2 位 中国 RS Color Technology（色覚異常者向け色変換メガネ）

第 2 位 中国 Breaking barriers and connecting the soul-Realtime Braille Translation Aids Based on Partial Convolutional Fusion（点字ー文字高速変換アルゴリズム・デバイス）

第 3 位 残りの 10 チーム

であり、日本チーム（Plus AlPhantom）は第 3 位であった。



現地の様子（世界大会、表彰式）

※2024 年の国内予選、世界大会については下記 URL で確認できます。

<https://www.mu-sic.tohoku.ac.jp/ican/ican2024/15thicanworld.html>

③iCAN+

iCAN'24 国内予選を勝ち抜いたチームの世界大会のフォローアップのための事業「iCAN+」を実施した。国内予選の審査員長川崎 栄嗣氏からオンライン（zoom）で世界大会におけるプレゼンテーションスキルを中心に 4 回に渡り指導を受けた。

(3) 技術相談事業

各種展示会や試作コインランドリでの技術相談のほか、MEMS パークコンソーシアムのホームページ上に、MEMS 技術に関する各種相談を受けるための相談窓口を開設している。また、研究会や展示会で情報交換を積極的に行った。

(4) ネットワーク形成事業

情報交換の場の提供

ハイブリッド開催とした第 22 回 MEMS 集中講義や対面で今年度 3 回開催したマイクロシステム融合研究会（第 38 回は+MEMSPC Café）においては交流会を実施して講演者や参加者間で情報交換を積極的に行った。

コンソーシアム設立 20 周年記念シンポジウムでは、MEMS や本コンソーシアムに関わりの深い方々に講演頂き、交流会も実施した。参加の方々から「MEMS 関係の人たちと久しぶりに交流することができた」、「MEMS コミュニティーの熱意を感じた」などのコメントを頂き、シンポジウムが契機としてネットワーク形成が進むことが期待される。

3 東北大学試作コインランドリ

東北大学西澤潤一記念研究センターの 1,800 m²の大型クリーンルームにおいて、微細加工に関する 150 台以上の設備が利用でき、経験豊富な 10 名を超える技術支援スタッフが研究開発を全面的にサポートしている。2010 年の開始以降、分野は MEMS、通信、フォトニクス、半導体材料、半導体製造装置と多岐にわたり、これまでに 400 を超える機関の利用実績がある。設備、技術情報に利用者がアクセスし、加工結果などの情報を他と共有しながら、研究開発を加速させる「オープンコラボレーション」を実践されていて、設備、技術が蓄積し、その他の開発にも活用されるポジティブフィードバックが働いている。実際の経験を有し、技術の本質を知った、その先の研究開発を切り拓く人材も育成される。人材育成と研究開発を同時に行うことによって、デバイス開発が推進されて製品化に至った事例が複数ある。

試作コインランドリの設備を利用して企業が製品を制作する企業の「製品製作」も支援している。大学の研究開発活動の成果を製品として販売し社会で実証するとともに、制作の過程や社会で生じた成果・課題を大学の教育研究にフィードバックさせてさらに加速させることを目的としており、これまでに数例の実績がある。

東北大学は文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ（ARIM）において「高度なデバイス機能の発現を可能とするマテリアル」技術領域のハブ機関となっており、2023 年よりデータ収集・登録を本格的に開始した。加工プロセスデータ、計測データを収集、蓄積、利活用できる環境を整備することで、個々のデバイス開発に適したプロセスフロー、レシピの検索、提案などを実現して、利用者の研究開発支援をさらに推進する。

試作コインランドリの新たな機能として、東北大学西澤潤一記念研究センター 3 階に、広さ約 300 m²の「プロトタイプラボ」を開設している。3D プリンタやカッティングマシンなどの造形を中心とした工作機器に加えて、電子工作、機械工作、評価に関する 100 台以上の機器が時間単位で廉価で利用可能である。電源や無線通信機能を有する半導体チップやセンサなどの微小デバイスを組み合わせた高機能なハードウェアの試作にも対応し、商品に近い形まで完成度を高められるものとなっている。学生や企業技術者、一般の方など、登録すれば誰でも利用可能で、経験豊富なスタッフの支援のもとで開発が進められるものとしている。今年度は FabLab SENDAI – FLAT と連携して、SENDAI MAKERSPACE TOURS の受け入れを行った。



クリーンルーム

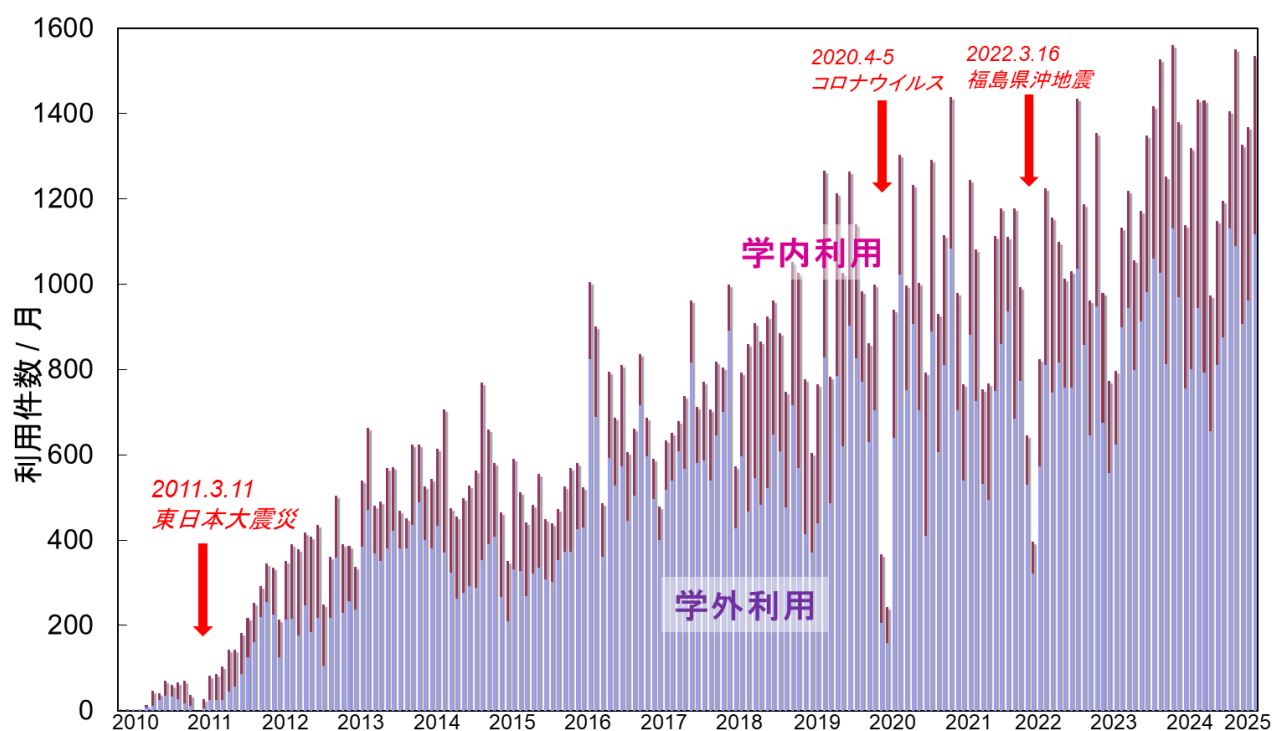


プロトタイプラボ

＜＜令和 6 年度利用実績＞＞ （令和 7 年 3 月末現在）
・ 利用件数 15,825 件（※これまでの推移は下図参照）
・ 利用料収入 35,761 万円

（参考）令和 5 年度利用実績
・ 利用件数 14,638 件
・ 利用料収 32,547 万円

試作コインランドリ 装置利用件数 ～2025.3



令和6年度 決算報告

1 一般会計

(単位：円)

※令和7年3月末現在

収入の部			
項目	R6年度予算	R6年度決算	備考
前年度繰越金	20,580,358	21,688,382	
会費収入	2,800,000	2,800,000	1口50,000円(33団体×43口)
人材育成試作実習受講料	0	0	試作実習の申し込みがあれば対応
協賛金	0	100,000	
交流会会費	100,000	399,500	集中講義、MEMSPC Café等
雑収入	180	9,596	利息
収入合計	23,480,538	24,997,478	

支出の部				
項目	内訳	R6年度予算	R6年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	0	0	
	さくらインターネットHP更新作業費	0	0	更新作業は自前で実施
	さくらインターネットサービス経費利用料	10,000	6,600	
小計		10,000	6,600	
出展関係費	MEMS Engineer Forum関係	55,000	0	μSICブースに出展
	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	55,000	0	μSICブースに出展
	SEMICON Japan 関係	55,000	0	出展取りやめ
	Future Technologies Forum SENDAI	0	61,600	新規に出展
小計		165,000	61,600	
セミナー関係費	MEMS集中講義開催経費	50,000	0	μSICと共催、会場使用料等
	MEMS公開セミナー	300,000	295,280	設立20周年記念イベント、講演講師謝金等
	マイクロシステム融合研究会	100,000	125,270	μSICと共催、講演講師謝金等
	セミナー開催経費	50,000	2,500	セミナー会場付帯設備・電気料金・駐車場料金
小計		500,000	423,050	
交流会開催費	MEMS集中講義	50,000	162,000	交流会実施
	マイクロシステム融合研究会、MEMSPC Café	100,000	126,076	交流会実施
	設立20周年記念シンポジウム観覧会		495,594	
小計		150,000	783,670	
人材育成運営費	人材育成運営費	0	0	人材育成試作実習運営経費
小計		0	0	
iCAN運営費	iCAN運営費	3,477,000	2,918,442	詳細は特別会計に記載
小計		3,477,000	2,918,442	
事務関係費	消耗品費	20,000	1,230	事務消耗品費、年会費請求書・各種案内送料
	銀行手数料	5,000	9,460	銀行振込手数料、両替手数料
	出張旅費	0	0	
小計		25,000	10,690	
ホールルーム関係費用	建物賃付料	170,000	158,466	
	光熱費	50,000	54,602	
小計		220,000	213,068	
支出合計		4,547,000	4,417,120	

当年度収支	-1,646,820	-1,108,024	収入合計(前年繰越を除く)－支出合計
繰越金	18,933,538	20,580,358	

決算額 **20,580,358**

上記全額は、下記の銀行口座及び現金にて保管してあります。

七十七銀行 泉パークタウン支店 普通預金 口座番号 5227011	20,580,358
現金(金庫内保管)	0
	20,580,358

令和7年5月16日

株式会社日本政策投資銀行東北支店

次長

星 憲太郎

2 特別会計 令和6年度 iCAN 運営費

(単位：円)

※令和7年3月末現在

収入の部				
項目	R6年度予算	R6年度決算	備考	
iCAN運営費(一般会計より)	3,477,000	2,918,442		
協賛金・助成金	0	0		
雑収入	0	131		
収入合計	3,477,000	2,918,573		

支出の部				
項目	内訳	R6年度予算	R6年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	644,000	1,018,000	iCAN24国内予選旅費・試作補助費 12チーム
	世界大会参加国内旅費	50,000		
小計		694,000	1,018,000	
海外旅費	世界大会参加旅費	1,878,000	1,297,357	iCAN24世界大会旅費
小計		1,878,000	1,297,357	
iCAN+(iCAN世界大会フォローアップ)	講師謝金	50,000	44,000	講師川崎栄嗣(web研修)
	外部招聘講師お礼	10,000	0	
		60,000	44,000	
国内予選人件費	審査員謝金	40,000	33,063	川崎栄嗣様他、計4名分(源泉所得税含む)
	審査員旅費	50,000	61,073	川崎栄嗣様他、計3名分
	司会委託費	20,000	22,042	源泉所得税含む
	司会旅費	25,000	22,767	
小計		135,000	138,945	
世界大会人件費	旅費、謝金等	0	0	
小計		0	0	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	260,000	0	旅費と合算で支給
	世界大会分試作補助費	20,000	0	
小計		280,000	0	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	200,000	170,850	せんだいメディアテーク附帯設備使用料
	世界大会会場使用料	0	0	
小計		200,000	170,850	
印刷・製本・記念品費	国内予選広報費	100,000	90,453	チラシ・ポスター制作費
	世界大会広報費	0	0	
	記念品	0	0	
小計		100,000	90,453	
食糧費	国内予選交流会食糧費	50,000	80,464	iCAN24国内予選交流会、審査員飲料
	世界大会食糧費	0	0	
小計		50,000	80,464	
事務関係費	消耗品費	50,000	65,779	事務消耗品、iCAN賞状・目録、年会費
	銀行手数料	10,000	10,505	銀行振込手数料
小計		60,000	76,284	
雑費	国内大会雑費	5,000	2,220	文房具、駐車場料金等
	世界大会雑費	5,000	0	
小計		10,000	2,220	
予備費	予備費	10,000	0	
小計		10,000	0	
支出合計		3,477,000	2,918,573	

当年度収支	0	0	収入合計－支出合計
繰越金	0	0	

決算額 0

上記全額は、下記の銀行口座及び現金にて保管してあります。

七十七銀行 名掛丁支店 普通預金 口座番号 6055079
現金(金庫内保管)

0
0
0

令和7年5月16日
株式会社日本政策投資銀行東北支店
次長 星 恵太郎

令和 7 年度事業計画（案）
審議事項

- 1 役員の就任・辞任・変更
- 2 令和 7 年度事業計画（案）
- 3 令和 7 年度予算（案）

1 役員の就任・辞任・変更

MEMSPC 総会にて承認を得た後、下記のとおり役員体制を変更する。

(1) 就任・辞任

該当なし。

(2) 変更

該当なし。

2 令和7年度事業計画（案）

令和6年度に引き続き、①情報発信事業、②人材育成事業、③技術相談事業、④ネットワーク形成事業を実施すると共に、以下のとおり事業の充実化を図る。

(1) 試作コインランドリ利用の推進について

各種展示会や講演会、仙台 MEMS ショールーム等において、試作コインランドリの活用による実用化例や、利用可能な設備、技術等の情報を広く発信して利用者の増加を目指す。また、MEMSPC 会員のネットワークも活用しながら、開発の支援を行う。

(2) MEMS 集中講義

第23回の MEMS 集中講義を開催予定。

MEMS の基礎知識から学会等の最新情報までを幅広く扱って、MEMS に携わっている技術者、これから関係しようとする技術者に必要な情報を提供する。

(3) MEMSPC 会員企業に資するネットワーク構築活動

これまでの MEMSPC の取組みにより培ったネットワークを、会員企業がより効果的に利用できるよう、要望に応じて事務局がコーディネートや企業訪問を行う等により会員企業のネットワーク構築に寄与する。

3 令和7年度予算（案）

(1) 令和7年度 MEMSPC 予算積算内訳（一般会計）

（単位：円）

収入の部				
項目		R7年度予算	R6年度決算	備考
前年度繰越金		20,580,358	21,688,382	
会費収入		2,850,000	2,800,000	1口50,000円(43団体×57口)
人材育成試作実習受講料		0	0	試作実習の申し込みがあれば対応
協賛金		0	100,000	(財)みやぎ産業科学振興基金
交流会会費		400,000	399,500	集中講義、MEMSPC Café
雑収入		5,000	9,596	利子など
収入合計		23,835,358	24,997,478	
支出の部				
項目	内訳	R7年度予算	R6年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	0	0	
	さくらインターネットHP更新作業費	0	0	更新作業は自前で実施
	さくらインターネットサービス継続利用料	10,000	6,600	
小計		10,000	6,600	
出展関係費	MEMS Engineer Forum関係	55,000	0	
	MEMSセンシング&ネットワークシステム展		0	μSICと共同出展
	新規出展(DTDA)	60,000	61,600	
小計		115,000	61,600	
セミナー関係費	MEMS集中講義開催経費	50,000	0	μSICと共催
	MEMS公開セミナー	50,000	295,280	設立20周年記念イベント、講演講師謝金、旅費等
	マイクロシステム融合研究会	100,000	125,270	μSICと共催、講演講師謝金、旅費等
	セミナー開催経費	20,000	2,500	
小計		220,000	423,050	
交流会開催費	MEMS集中講義	100,000	162,000	交流会実施
	マイクロシステム融合研究会	50,000	126,076	交流会実施
	MEMSPC Cafe	200,000	495,594	
小計		350,000	783,670	
人材育成運営費	人材育成運営費	0	0	人材育成試作実習運営経費
小計		0	0	
iCAN運営費	iCAN運営費	3,090,000	2,918,442	詳細は特別会計に記載
小計		3,090,000	2,918,442	
事務関係費	消耗品費	10,000	1,230	事務消耗品費、年会費請求書・各種案内送料
	銀行手数料	5,000	9,460	
	出張旅費	0	0	
小計		15,000	10,690	
ショールーム関係費	建物賃付料	170,000	158,466	
	光熱費	50,000	54,602	
小計		220,000	213,068	
支出合計		4,020,000	4,417,120	
当年度収支		-765,000	-1,108,024	収入合計(前年繰越を除く)－支出合計
繰越金		19,815,358	20,580,358	

(2) 令和7年度 iCAN 運営費 予算積算内訳 (特別会計)

(単位:円)

収入の部				
項目		R7年度予算	R6年度決算	備考
iCAN運営費(一般会計より)		3,090,000	2,918,442	
協賛金・助成金		0	0	
雑収入		0	131	
収入合計		3,090,000	2,918,573	
支出の部				
項目	内訳	R7年度予算	R6年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	1,060,000	1,018,000	15チーム
	世界大会参加国内旅費	15,000		
小計		1,075,000	1,018,000	
海外旅費	世界大会参加旅費	1,000,000	1,297,357	3チーム
小計		1,000,000	1,297,357	
iCAN+ (iCAN世界大会フォローアップ)	講師謝金	55,000	44,000	
	外部招聘講師お礼			
		55,000	44,000	
国内予選人件費	審査員謝金	40,000		
	審査員旅費	50,000		
	司会委託費	20,000		
	司会旅費	25,000		
小計		135,000	138,945	源泉所得税含む
世界大会人件費	旅費、謝金等	0	0	
小計		0	0	
器具・備品費	国内予選試作補助費	300,000	0	15チーム
	世界大会試作補助費	60,000	0	3チーム
小計		360,000	0	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	200,000	170,850	せんだいメディアテーク附帯設備使用料
	世界大会会場使用料	0	0	
小計		200,000	170,850	
印刷・製本・記念品費	国内予選広報費	100,000	90,453	チラシ・ポスター制作費
	世界大会広報費	0		
	記念品	0		
小計		100,000	90,453	
食糧費	国内予選交流会食糧費	100,000	80,464	審査員・司会者飲料・交流会を実施
	世界大会食糧費	0		
小計		100,000	80,464	
事務関係費	消耗品費	50,000	65,779	事務消耗品、iCAN賞状・目録、iCANチラシポスター・デバイス郵送料・カード年会費
	銀行手数料	10,000	10,505	銀行振込手数料
小計		60,000	76,284	
雑費	国内大会雑費	5,000	2,220	
	世界大会雑費	0	0	
小計		5,000	2,220	
予備費	予備費		0	
小計		0	0	
支出合計		3,090,000	2,918,573	
当年度収支		0	0	収入合計－支出合計

MEMS パーク コンソーシアム 令和7年度役員等名簿

【役員】

肩書	所属	部署	役職	氏名
代表	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	教授	戸津 健太郎
副代表	SEMIジャパン		代表	浜島 雅彦
副代表	東北大学	未来科学技術共同研究センター	シニアリサーチフェロー・名誉教授	桑野 博喜
副代表	東北大学		名誉教授	原山 優子
副代表	東北経済産業局	地域経済部	部長	古谷野 義之
副代表	宮城県	経済商工観光部	部長	中谷 明博
副代表	仙台市	経済局	局長	木村 賢治朗
監事	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	支店長	岡井 寛一郎
幹事	富士電機 株式会社	パワエレシステム インダストリー事業本部 開発統括部 計測・制御開発センター 計測機器開発部	主席	武居 正彦
幹事	株式会社 アドバンテスト研究所		代表取締役社長	君島 正幸
幹事	株式会社 メムス・コア		会長	本間 孝治
幹事	産業技術総合研究所 東北センター	産学官連携推進室	所長代理	後藤 浩平
幹事	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
顧問	一般社団法人 東北経済連合会		会長	増子 次郎
顧問	東北大学		総長	富永 悌二
顧問	東北経済産業局		局長	佐川 佳典
顧問	宮城県		知事	村井 嘉浩
顧問	仙台市		市長	郡 和子

【アドバイザー】

アドバイザー	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	シニアリサーチフェロー	江刺 正喜
--------	------	--------------------	-------------	-------

【推進委員会委員】

肩書	所属	部署	役職	氏名
委員長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任研究員	大高 剛一
委員	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	次長 兼 東北復興・成長サポート室長 兼 企画調査課長	星 憲太郎
委員	株式会社 ティ・ディ・シー		代表取締役社長	赤羽 優子
委員	株式会社 リコー	先端技術研究所 IMD研究センター		細野 信人
委員	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
委員	東北大学	研究推進部産学連携課	課長	佐藤 良和
委員	東北経済産業局	地域経済部情報政策・半導体戦略室	室長	井元 尚充
委員	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	課長	大内 貴博
委員	仙台市	経済局イノベーション推進部イノベーション企画課	課長	小池 伸幸

【事務局】

肩書	所属	部署	役職	氏名
事務局長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任研究員	大高 剛一
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	助手	早川 昌子
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	事務補佐員	小林 みゆき
	東北経済産業局	地域経済部情報政策・半導体戦略室	室長補佐	小岩 裕介
	東北経済産業局	地域経済部情報政策・半導体戦略室	係員	早坂 凌
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主任主査(班長)	阿部 江平
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主幹(班長)	表 由香子
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主事	加藤 稜大
	仙台市	経済局イノベーション推進部イノベーション企画課	係長	菊地 健
	仙台市	経済局イノベーション推進部イノベーション企画課	主事	伊藤 空美
	仙台市	経済局イノベーション推進部イノベーション企画課	会計年度任用職員	伊達 恵